

鹿児島県いじめ防止子どもサミットにおける 「いじめ防止のための主な提案及び意見」

義務教育課
高校教育課

1 期 日

令和元年12月26日（木）

2 参加者

143人（小・中・高等学校，教職員，保護者，教育関係者）

3 テーマ及び議題

- テーマ
「いじめを受けて悩んだとき（悩んでいるとき）に言えるようにするために」
- 議題 話合いの柱
 - 1 学校（先生）に望むいじめへの対応
 - ・ こんな対応をしてほしい
 - ・ こんな対応はいやだ
 - 2 悩みを抱えている友達を見つけたときに，信頼できる大人につなぐためにはどうすればよいか

4 児童生徒からの提案

(1) 学校（先生）に望むいじめへの対応

ア こんな対応をしてほしい。

<小学生からの提案>

- 話を聞くこと
 - ・ 自分たちの気が済むまで，また，自分の思っていることを最後まで，話を聞いてほしい。
 - ・ 先生たちに個別で話をしてほしい。一人の人間の生き方として真剣に聞いてほしい。
- 気付くこと
 - ・ 先生に心に寄り添ってほしい。
 - ・ 生徒一人一人のことをよく見て，いじめがあればすぐに発見できるようにしてほしい。
 - ・ 友達からの小さな「いじり」なども，一つ一つ対応してほしい。
- アンケート調査のこと
 - ・ 学校全体で，本当にいじめがないかどうかを調査してほしい。
 - ・ もっと頻繁に「いじめのアンケート」をしてほしい。
- 一人一人の意見を聞き，意見をみんなで考えること
 - ・ クラス全員で話し合う機会をもっと設けてほしい。
 - ・ 他の人たちが意見を理解してくれるように，先生が考えをまとめてほしい。
- 名前の呼び方のこと
 - ・ 呼び捨てや「あだ名」などで呼ばないでほしい。なぜなら，変な「あだ名」にされてトラブルにつながるから。

<中学生，高校生からの提案>

- 相談に乗ること
 - ・ 先生に相談した際，「何か先生に出来ることはある？」と聞いてほしい。
 - ・ 解決に導くための話を聞いてほしい。
- 行動すること
 - ・ 生徒の話を聞くだけでなく，いじめられている生徒にどうしてほしいかまで聞き，実行してほしい。
 - ・ いじめた人を怒ったりするだけでなく，これからその生徒がどうすべきか教えたり，考えさせたりしてほしい。

イ こんな対応はいやだ

<小学生からの意見>

- 先生たちの発言のこと
 - ・ 相手のことを考えずに発言する。
 - ・ 「自分で立ち向かえ」のような無責任なことを言う。
- 見て見ぬふり，気付いていないふりをすること
 - ・ いじめられているのに，見て見ぬふりをしているように感じることもある。
 - ・ 具体的な対策を取らない。
- 周りの人を巻き込むこと
 - ・ 周りに広める。
 - ・ 過度にいじめの問題に介入する。
 - ・ 相談なく，全体でいじめた人へ指導する。
- 平等な接し方
 - ・ いじめる側，いじめた側のそれぞれから平等に話を聞かない。

<中学生，高校生からの意見>

- 対応の仕方
 - ・ 話だけ聞いて行動に移さない。
 - ・ 質問や注意だけで終わる。
 - ・ アンケートを取るだけで，その後効果的なことが行われぬ。
 - ・ 実例をみんなの前で公表され，他の人にいじめられていることを知られる。
 - ・ 相談者に相談なくクラスメイトや他の人たちに説明し，話し合いなどをする。

(2) 悩みを抱えている友達を見つけたときに，信頼できる大人につなぐためにはどうすればよいか。

- コミュニケーションによる解決
 - ・ 辛いこと悲しいことなど相手の気持ちを十分に聞きながら，支えになる。
 - ・ 友達の相談について，自分自身も自分事として考える。
 - ・ いじめられている人から事情を聞き，他の人（同級生）と協力して，自分自身で解決できるようにする。
 - ・ 良い方法がないかを一緒に考える。

- プライバシーを守ること
 - ・ 周りの人に気付かれないように相談を受ける。
- 関係づくりをすること
 - ・ 悩みを抱えている友達が一人にならないように積極的に話しかけて、話しやすいようにする。
- 大人の力を借りること
 - ・ 教育相談などを活用する。
 - ・ 友達の悩みを自分の保護者に話し、アドバイスをもらう。
 - ・ 大人に相談する場合、誰に相談したいか、しっかりと聞く。
 - ・ 本人が大人に相談したいか、したくないかの意思をしっかりと確認する。
 - ・ 本人に話をして、保護者に打ち明けることを提案する。
- 面談方法のこと
 - ・ 1か月に1度の面談をする。
 - ・ 嫌な思いをしていますが、なかなか言い出せない人もいますので、先生は、一人一人の悩みをよく理解しながら面談を行う。

5 児童生徒たちから出されたその他の意見

(1) こんな対応をしてほしい。

- 一人一人にカウンセリングの時間を設定すること。
- 考える機会を与えること
 - ・ いじめについての授業を行い、いじめによってどんなことが起こるのかを生徒に考えさせ、助言してほしい。
 - ・ 様々な解決策や対処法があることを助言してほしい。
- 当事者と話すこと
 - ・ いじめをする児童生徒と、いじめについて話をしてほしい。
 - ・ 他人事とは思わずに、自分の立場（いじめられている側）に立って、当事者と話してほしい。
 - ・ もっと生徒の友達関係を把握してほしい。
- 環境のこと
 - ・ 自分で「いじめを受けている」と言いづらいと思うから担任と個人で話す時間をもっと設けてほしい。
 - ・ 先生にもっと生徒との信頼関係を深めてもらい、いじめを受けた人がもっと相談しやすい環境をつくってほしい。

(2) こんな対応はいやだ

- 無理に仲良くさせないこと
 - ・ グループづくりの際、仲が悪い人を入れる。
- 保護者への連絡のこと
 - ・ いじめに気付いた際、相談なく保護者へ連絡する。
- 否定しないこと
 - ・ 先生が「あなたは間違っている」とすぐに否定する。
- 生徒をいじること
 - ・ 生徒をいじりながら、おちゃらけた雰囲気での授業をする。

6 県いじめ防止子どもサミットの様子



